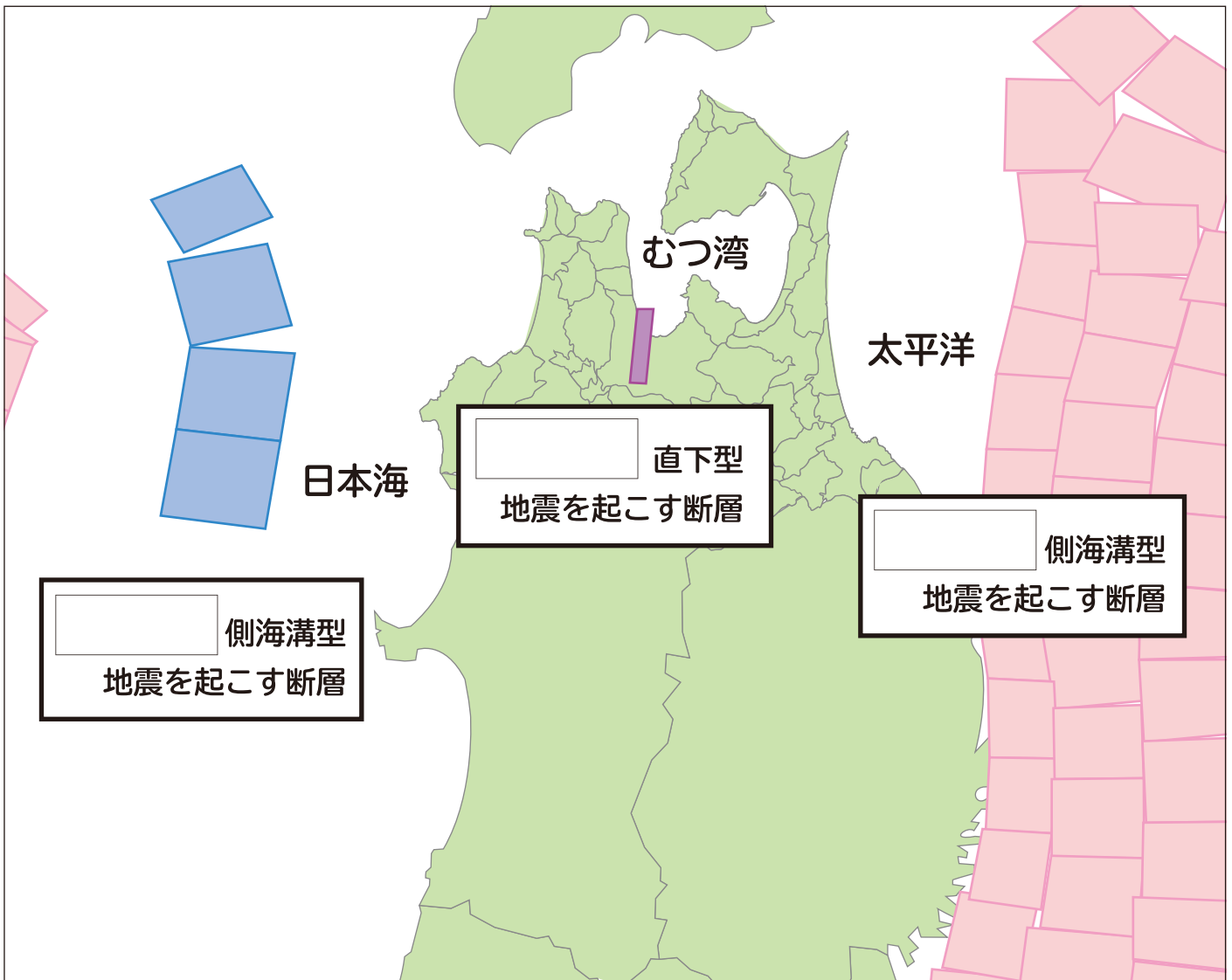




地震・津波

青森県では、大きな被害をもたらす地震について、主に3つの地震モデルを想定しています。下記の図は、その3つの地震モデルの断層を表した図です。それぞれの断層の名称を□の中に記入しましょう。



出典：平成24・25年度及び平成27年度 青森県地震・津波被害想定調査より

大きな地震が起きました。
沿岸部で真っ先に気をつけなければならないことは、下記のどれでしょう。

● 暴風雨

● 津波

● 火事

地震・津波

どの断層で地震が起きるかにより、被害の大きさが異なります。

皆さんの住む地域では、どのくらいの被害があるのか確認しておきましょう。

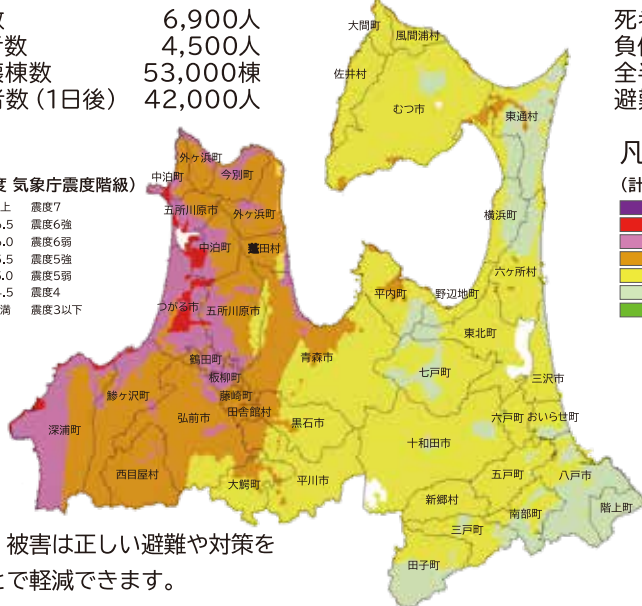
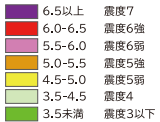
●日本海側海溝型地震

日本海側で、マグニチュード7.9の地震が起きた場合に想定される県全体の被害は、

死者数 6,900人
 負傷者数 4,500人
 全半壊棟数 53,000棟
 避難者数(1日後) 42,000人

凡例

(計測震度 気象庁震度階級)



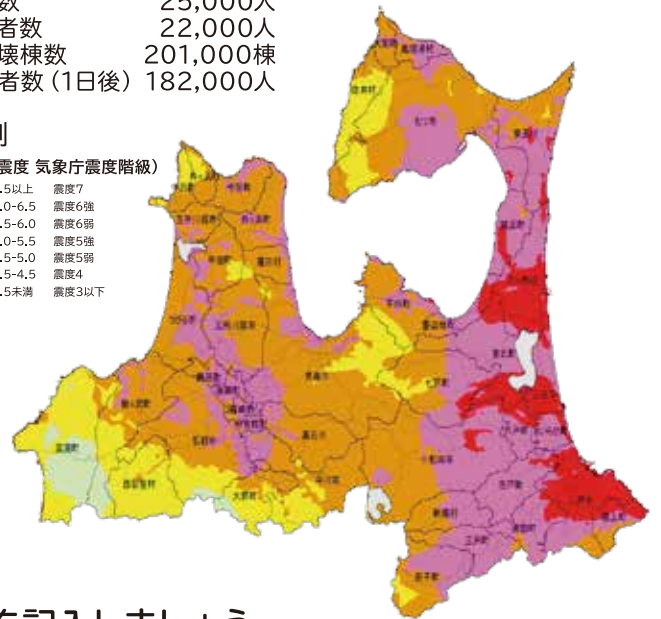
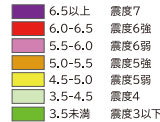
●太平洋側海溝型地震

太平洋側で、マグニチュード9.0の地震が起きた場合に想定される県全体の被害は、

死者数 25,000人
 負傷者数 22,000人
 全半壊棟数 201,000棟
 避難者数(1日後) 182,000人

凡例

(計測震度 気象庁震度階級)



※ただし、被害は正しい避難や対策をすることで軽減できます。

津波の到達時間の問題です。□に当てはまる文字を記入しましょう。

●太平洋側で地震が起きた場合、約□分で津波の第一波がやってくるといわれています。
 より沿岸に近い地震の場合は、もっと□<到達します。

●日本海側で起きた場合、約□分～□分で津波の第一波がやってくるといわれています。
 より沿岸に近い地震の場合は、もっと□<到達します。

出典：平成24・25年度及び平成27年度 青森県地震・津波被害想定調査より

いち □<、□<、□ いところへ避難しましょう。



コメント欄

確認日

(月 日)

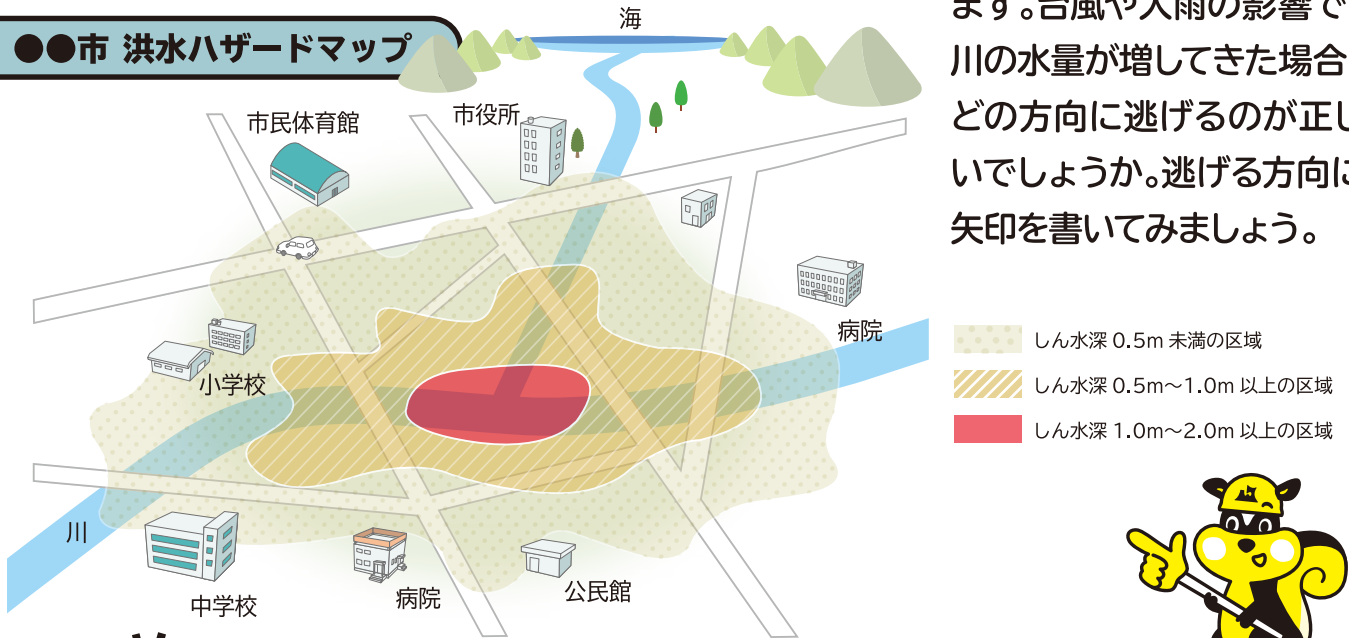
青森県で起こりうる災害を知ろう



大雨・台風・土砂災害

●大雨の被害

●●市 洪水ハザードマップ



街には、大きな川が流れています。台風や大雨の影響で、川の水量が増してきた場合、どの方向に逃げるのが正しいでしょうか。逃げる方向に矢印を書いてみましょう。



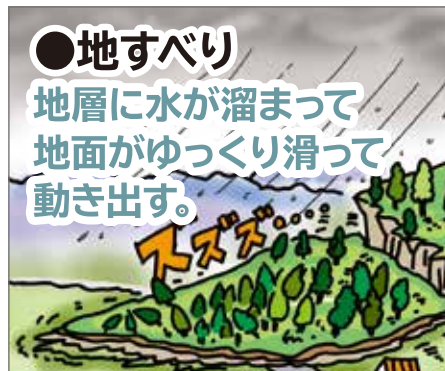
ポイント

大雨や川の氾濫、津波などの災害による被害がでる恐れがある場所が書かれた地図を「ハザードマップ」というんだ。みなさんが住んでいる地域にも必ずハザードマップがあるので、もしもの時のため、家族で近所のハザードマップを確認しておこう。

●土砂災害

大雨が降り続けると下記のような「土砂災害」が起こります。

あなたの地域で「土砂災害危険区域」になっている場所を調べて書いてみましょう。



私たちの地域の土砂災害危険区域

.....

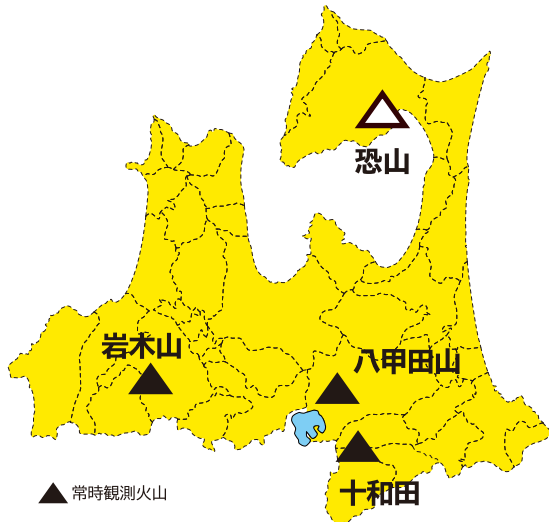
.....

.....

火山噴火・大雪・暴風雪

●火山噴火

青森県にある4つの火山のうち、活火山はどれか、絵を○で囲みましょう。
また、噴火すると、どんな被害が起こるか書いてみましょう。



噴火すると、こんな危険がある

.....

.....

.....

.....

.....

.....

●大雪・暴風雪

青森県は、たくさんの雪が降り積もる地域が多く、雪による被害もたくさんあります。
絵を見て、危険だと思うところを○で囲み、その理由と防止策も書いてみましょう。



危険なところ

その理由

防止策

.....

.....

.....

.....

.....

.....